



No. 5

近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成29年度第1回

一般国道312号

お お み や み ね や ま

大宮峰山道路

【再評価】

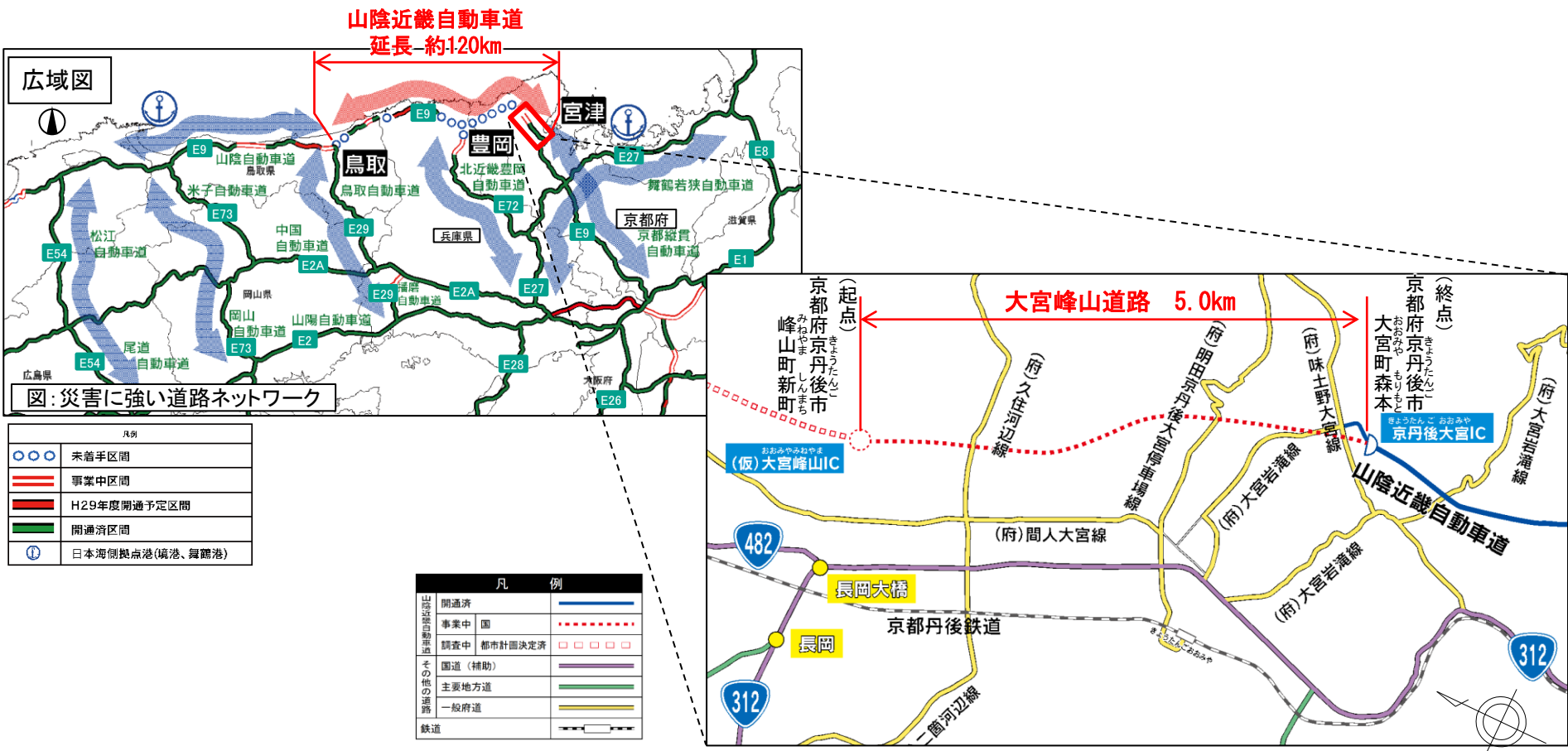
平成29年 7月  
近畿地方整備局

# 事業全体図

## 一般国道312号 大宮峰山道路

山陰近畿自動車道は、日本海国土軸を形成する道路で、主要都市（鳥取市、豊岡市、宮津市）の連携を強化すると共に、広域観光の促進や災害時の代替路を担う延長約120kmの地域高規格道路です。

大宮峰山道路は、山陰近畿自動車道の一部を形成し、並行する国道312号のバイパスとして、災害に強い道路ネットワークの形成、交通混雑の緩和や救急医療の搬送時間短縮に寄与するほか、丹後地域沿岸部の観光施設へのアクセス性向上による観光産業の活性化を目的とした延長5.0kmの道路であり、国による直轄権限代行により整備を行っております。



# 事業の概要

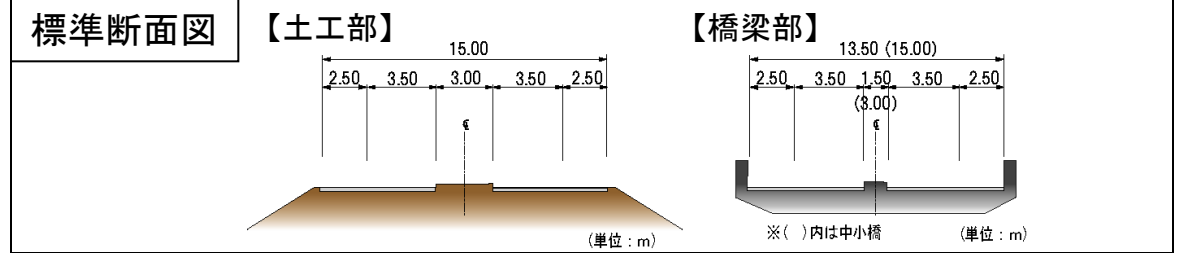
## 一般国道312号 大宮峰山道路

### 事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全性の向上

### 事業の概要、進捗状況

区間	(起) 京都府京丹後市峰山町新町 (終) 京都府京丹後市大宮町森本
道路延長	5.0km
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線
標準幅員	15.0m(土工部)
計画交通量	10,000台/日
全体事業費	160億円
事業化	平成27年度
都市計画決定	平成11年4月 (平成18年12月、平成27年3月都市計画変更)
用地着手	-
事業進捗率	約1%(平成29年3月末現在)
用地取得率	約0%(面積ベース、同上)



再評価の視点	現在の状況	備考
<b>事業の必要性に関する視点</b>		
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	新規事業化(H27年4月)から大きな変化なし	
2) 事業の整備効果	新規事業化(H27年4月)から大きな変化なし	
3) 事業の投資効果	社会経済情勢等に大きな変化がないため算出を省略	前回全体 B / C 1.6
4) 事業費の変化	新規事業化(H27年4月)から変化なし	
5) 地域における計画等	新規事業化(H27年4月)から大きな変化なし	
<b>事業の進捗の見込みの視点</b>	進捗率(事業費) 約1% 用地取得率(面積) 0%	
<b>コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点</b>	新技術・新工法の活用などを引き続き検討	

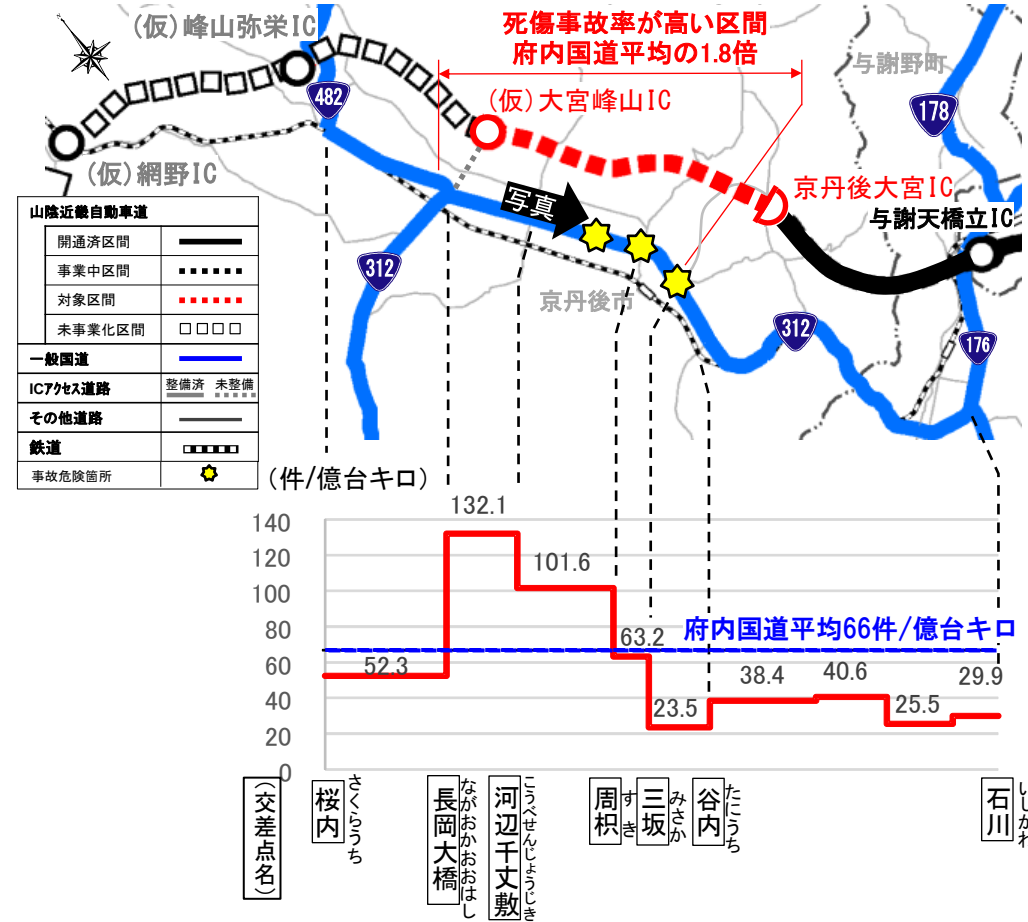


# 事業の必要性等に関する視点 一般国道312号 大宮峰山道路

## 事業の整備効果(交通安全性の向上)

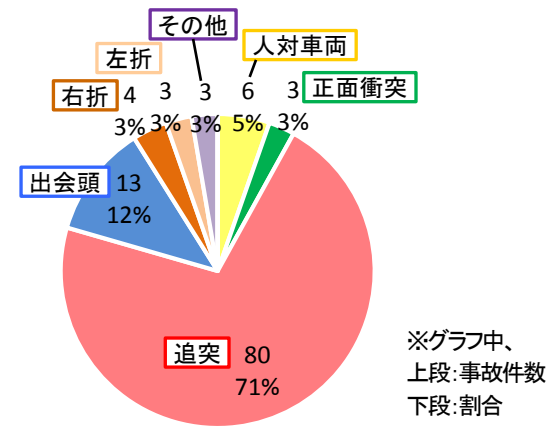
- 大宮峰山道路の並行区間である国道312号では、事故危険箇所が3箇所あり、前後区間に比べ、死傷事故が多発。
- 当該区間では、交通混雑や沿道施設への出入りによる追突事故が発生。
- 大宮峰山道路への交通転換により、交通混雑が緩和され、安全性の向上が期待。

### ●国道312号の死傷事故発生状況



### ●国道312号の事故類型

○国道312号(大宮峰山道路並行区間)



### 【国道312号の交通状況】



### 1) 事業の進捗状況

#### 平成29年度事業内容

- ・現在、道路設計、用地調査を実施しています。

#### 進捗状況

- ・平成28年度末までの進捗は、用地進捗率0%（面積ベース）、事業進捗率約1%（事業費ベース）です。
- ・京丹後市が地籍調査を実施しており、森本地区について平成29年度完了予定。
- ・地籍調査が完了したところから用地取得を進めます。

#### 事業進捗上の課題

- ・大きな課題はありません。

### 2) 今後の事業スケジュール等

- ・引き続き用地取得等を推進し、早期の開通を目指します。



区間	未開通区間
用地	用地進捗率0%
	用地取得推進
工事	調査設計推進

※用地取得率はH29年3月末時点の面積ベース。

## ■京都府知事

平成29年7月10日 9道計第198号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

大宮峰山道路は並行する国道312号のバイパスとして、周辺地域の交通渋滞の緩和や、丹後地域沿岸部の観光施設へのアクセス機能向上による観光産業の活性化が期待されており、対応方針(原案)のとおり、引き続き事業を推進し早期の完成をお願いします。



## ◆沿線市町村の期待

### ■京丹後市長

(期待する効果)

#### ①高速道路網の形成

- ・全国的にも数少ない「ミッシングリンク」の解消
- ・代替路となる高速道路網を形成することによる災害時の活動支援
- ・京阪神地域と日本海沿岸地域間における地域連携の強化

#### ②交通混雑の緩和・移動時間の短縮

- ・観光シーズンを中心とした国道312号の交通混雑の緩和
- ・救急車両の搬送時間の短縮

#### ③高速道路のアクセス強化

- ・周遊性の向上により、立寄り可能となる観光施設が増加
- ・観光客の選択肢増加による地域全体の魅力向上
- ・赤坂工業団地とのアクセスの向上

⇒物流ネットワークの向上により、産業振興へ期待

(取り組み)

- ・山陰近畿自動車道の整備を促進するため地籍調査事業を推進
- ・京都府北部7市町の連携(海の京都DMO)による観光誘客の推進
- ・山陰近畿自動車道の必要性を周知するため積極的な住民広報を実施

大宮峰山道路は、事業の必要性等に関する視点に変更はなく、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

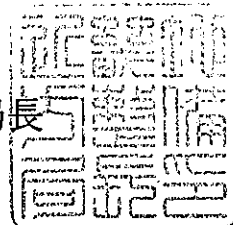
**事業継続**



国近整企画44号  
平成29年6月26日

京都府知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成29年7月19日(水)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成29年7月10日(月)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

## 【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道312号大宮峰山道路	事業継続	
一般国道24号寺田拡幅	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

9道計第198号  
平成29年7月10日

国土交通省近畿地方整備局長  
池田 豊人 様

京都府知事 山田 啓二



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）  
の作成に係る意見照会について（回答）

平成29年6月26日付け国近整企画44号で意見照会の件について、別紙  
のとおり回答します。

(別紙)

## 事業継続に関する京都府意見

### 【道路事業】

事業名	一般国道 3 1 2 号大宮峰山道路
意見	大宮峰山道路は並行する国道 3 1 2 号のバイパスとして、周辺地域の交通渋滞の緩和や、丹後地域沿岸部の観光施設へのアクセス機能向上による観光産業の活性化が期待されており、対応方針(原案)のとおり、引き続き事業を推進し早期の完成をお願いします。

事業名	一般国道 2 4 号寺田拡幅
意見	一般国道 2 4 号寺田拡幅は周辺地域の交通渋滞の緩和、交通事故の減少等やアクセス機能の向上による企業立地の促進が期待されており、対応方針(原案)のとおり、引き続き事業を推進し、並行する新名神高速道路の整備が進んでいることから、早期の完成をお願いします。